



※であるので県に要望していきたい。ハザードマップの公表は三月末に自連協議事会で説明するとともに、四月二十一日の広報でお知らせする。」

答弁③「公民館・図書館共に、老朽化が目立つトイレや照明・床モルタル・ドアなど、必要に応じた修繕を行っている。」

◎いこいの家—二十二年度には建替え

このも館との複合施設だが、借地なので所有者や関係部との協議調整を行い、平成二十二年度には実現できるよう取組んで行く

質問「J A 市川市に対して市が期待する理想像は」

答弁「J A 市川市では「安全で安心できる農産物の提供や農業の振興」と「農による地域との共生」を目標としているので、今後は市民が農業を理解し、応援してくれるような事業に取組んでもらいたい、農産物のPR事業・直売所の開設・市民農園事業など、都市農業の発展に尽力してくれるよう期待している。」

行政は、積極的に支援をして協働していきたい」

シルバー料金の導入について

答弁「動物園の入園料は、免除で無料である。東山魁夷記念館は、六十五才以上は二割引きとした。余熱利用施設の風呂ゾーンの利用料金は、六十五才以上は五百円を考えている。(一般より百円引)六月議会までは、料金体系を公表したい」

障害児に対する市の対応について

質問「信篤小学区から九名の児童が二俣小の特殊学級に通っており、運営上も問題があるので、早急に信篤小に特殊学級を設置できないか」

答弁「現時点では厳しいが、平成二十年度をピークに児童数は緩やかに減少する見込みであり、その状況を注視しながら検討したい。又、本市の障害児の教育の場については、長期的展望を持って検討していくことが重要と考えている」

難聴児童対策の現状と対応について

質問「難聴の子供の数は、十八人が掌握されているが、この治療には、長い時間と多くの手間暇を費やすことから厳しい局面がある。その支援の内容は、又、今後の教済、支援をどう考えているのか」

答弁「支援として、一割負担で補聴器を支給、その他情報受信装置の支給もしている。経済的支援として国の手当で障害児福祉手当月額一四、三八〇円その他、市の手当も重複して支給、又、難聴児童の保護者に国から重度で五〇、七五〇円、中度で三三、八〇〇円を支給。障害児を抱える保護者の精神的、経済的な不安が大きいことは理解しているので、今後とも支援に努めていきたい」

市川市議選挙

四月二十二日(日)七時〜二十時

※今回の選挙に投票できる人

○十九年一月十四日迄に転入し、引き

続き市川市に住んでいる人

○昭和六十二年四月二十三日迄に生まれた人

投票当日都合の悪い人は、期日前投票所(信篤公民館外十二か所)で投票できま

出陣式は四月十五日(日)

午前十時から原木日枝神社境内

皆さんのご参加をお待ちしています

信篤地域の環境を考える会

四月十一日(水)午後六時〜七時

場所 信篤公民館第二会議室(3F)

ご意見をお待ちしています